

年頭挨拶

## IoT 向け Wi-Fi を一刻も早く日本でも利用可能へ

802.11ah 推進協議会 会長 小林忠男

新年あけましておめでとうございます。

「802.11ah 推進協議会（以下、11ah 協議会）」は、昨年 11 月 7 日、IoT に最適な Wi-Fi である IEEE802.11ah の日本での導入促進を目的とした団体として発足しました。会員及び関係機関の皆様の多大なるご協力、ご支援により、無事に新年を迎えることができました。皆様にあらためて厚く御礼申し上げます。

11ah 協議会は、5 団体の発起人メンバが企画し、昨年 10 月 23 日に報道発表して会員募集を始めました。23 日の報道発表からわずか 2 週間後の協議会設立に際して、どの程度会員が集まるのか心配しましたが、想定 of 30 団体をはるかに上回る設立時 56 団体の参加を得ることができました。さらにその後、キャリアに加えてメーカーや SIer、学術団体に至るまで、幅広いメンバに参加して戴き、新年を迎えた現在、73 団体の皆様に会員になって戴いております（2019 年 1 月 18 日現在）。

皆さまご案内のとおり、IEEE 標準規格 802.11ah (Wi-Fi HaLow™) は、920MHz 帯の周波数を利用する通信手段のひとつで、特に IoT の通信システムとして様々な分野で活用が期待される新しい種類の Wi-Fi 規格です。920MHz 帯を利用した通信システム (LPWA: Low Power Wide Area) は国内でも既に活用されていますが、802.11ah は、「Wi-Fi の伝送距離が拡大」「端末・アクセスポイント・クラウドまでエンドエンドでユーザが自由にネットワーク構築可能」「フルオープン・IP ベースの Wi-Fi ファミリー」「数 Mbps のスループットの可能性を有する」という特徴を持つことから、より多様なユースケースへの適用を実現し、IoT を活用した社会的課題の解決手段の選択肢の拡大や利便性向上に寄与するものです。

「802.11ah 推進協議会」は、現段階では国内で利用できない同規格の利用実現に向け、今年は、一日も早く実験局を開設し、国内初となる実証実験（トライアル）を開始します。併せて、関連する種々の技術検討、実証実験、情報収集、関係機関への働きかけ及び普及促進活動等を推進していきます。

本年も、皆様とともに、お客様により安心して快適な Wi-Fi ソリューションを提供する営みの一環として、IEEE802.11ah 商用システムの国内利用の早期実現に向け精一杯取り組みたいと思いますので、引き続き皆様からの変らぬご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。